

CHECK
最新作
映画
「冬の怪談～ぼくとワタシとおばあちゃんの物語～」



STORY
おばあちゃんが危篤になった日、兄妹のものと霊能者を名乗る謎の女が現れる。兄妹に取り憑こうとする悪霊たち、その目的とは？怖くて、怖くて、そしてちょっぴり切ないロマンチックホラー。

ミライ・アクターズ・プロモーション

女優・俳優・アーティスト……いきなりデビューも夢じゃない!!

映画デ☆ビューのチャンスをつかもう!

「デ☆ビュー」11月号で出演者を募集したミライ・アクターズ・プロモーションの最新作「冬の怪談～ぼくとワタシとおばあちゃんの物語～」がクランクイン! 読者にとってチャンスいっぱいMIRAI映画、その魅力を紹介するから興味のある人は次回作に挑戦!

撮影/白石文丈 取材・文/河上いつ子 スチール/©MIRAI

CHANGE 3

プロキャストとの共演でプロの技を吸収!

MIRAIの映画には毎回、実力派のプロキャストが揃う。プロの演技や話に触れるのは、新人にとって勉強になることがいっぱい! プロから吸収できるチャンスを見逃さない!

「オーディションに落ちたり、悔しい思いをすることも大事」(木村)



「ドラマ、映画をたくさん見て、役者さんの表情をいろいろな角度から研究する」(矢島)

「オーディションで自分がコントロールできているようでは、審査員はおもしろくないです」(原田)

「自分の持っているものを堂々と出すのがいいんじゃないかな」(中島)

「同じ失敗を繰り返さず、同じ注意を受けないように」(山本)

「うまくできなかったときは台本にメモをとって、それを見て本番では注意する」(福田)

左から：神品信市プロデューサー、山本博子、木村延生、矢島舞美、福田花音、中島マリ、原田大二郎

神品信市プロデューサー「この映画に出て、皆さんいかがでしたか？」
矢島舞美「私は悪霊と戦うシーンがあったんですが、普段、体を張って戦うことなどないので、動きを覚えていたんですが頑張ってアクシオンシーンに臨みました」
山本博子「私は途中から悪霊になってしまっ後で、もちろん、悪霊を演じたのは初めてなので、新境地開拓でした」
福田花音「私は映画は今が初出演で、どういふにひとひとつこのシーンで撮っていくのかも初めて知ったので、早く現場に慣れ、春菜役になりきることに集中していました」
原田大二郎「福田さんは13歳なのに、落ち着いたしっかりしたコメントで素晴らしいね!」
神品「福田さんは本読みのときもガッツとキャラクターが変わったんで、僕もビックリしたんですよ。役になると、自然と入りこめるのかな?」
福田「自分ではわからないんですけど、セリフの読み合わせでうまくできなかったなと思ったときは台本にメモをとって、それを見て本番では注意するようにしていました」
神品「矢島さんは演技をするにあたって気を付けていることはありますか?」
矢島「私もまだ映画出演は2度目で演技の経験がそんなにないんですけど、映画をたくさん

見て、役者さんの表情に集中したりいろいろな角度から研究するようにしています」
神品「山本さんはオーディションを勝ち抜いて、これまで何本かの映画出演を果たしていますが、いかがですか?」
山本「まだまだ失敗も多いですが、これも多いですが、いつも心掛けているのは、同じ失敗を繰り返さないようにしようということ、同じ注意を受けないようにしようということです」
原田「この世界で大事なものは、ロウ yourself」ということだからね。人の意見を聞き入れることは大事だけれど、最終的には誰も代わりはやってくれない、自分でやるしかない。それはしんどい作業だからこの世界は脱落する人がほとんど出るし、続けられた人だけが残ることができる。その厳しさを理解して諦めるものかという強さを持って取り組んでいくことが必要だよ」
木村「その意味では、オーディションに落ちたり、悔しい思いをすることも大事だと思えます。それが次に進む力にもなる」
中島「私も初めて映画に出たのがオーディションだったので、新人の皆さんの気持ちはよくわかるんです。私の経験から言えるのは、オーディションには気構えていくよりもフラクな気持ちで臨んで、自分の持っているものを堂々と出すのがいいんじゃないかな」
原田「オーディションで自分がコントロールできているようでは、審査員はおもしろくないですからね。作られた面より、この子はどういうところがあるんだという素の部分が見えることを審査員は望んでいると思う」
福田「あとは自分に自信を持って頑張れば大丈夫だと思います」
中島「そして好きという気持ち大切、諦めず挑戦することね!」

次回作映画「oh!マイ・ブラザー～誰の心に届く…～」出演者&主題歌アーティスト募集はP.126へ! ➡

CHANGE 1

オーディションで新人をバツキ!
MIRAIの映画の特長は新人を多数抜擢すること。これまで主要な役どころに選ばれた新人も多数いるから見逃さない! さらにさらに現場出演は学ぶことが多いので……



左後方から村田藍菜(18歳)、石垣祥(22歳)、下田辰徳(22歳)、富樫迅(10歳)

オーディションはどんなふう臨みましたか?
下田「あまり力まないで自然にしていることを心がけました」

村田「私は演技の勉強を始めてから今までに映画に出演したことがなかったので、今回はぜひ負けたくない!と思って臨みました。でも最終選考ではまわりのレベルがすごく高かったので、ただ精一杯自分らしくやることだけ考えました」

富樫「僕はオーディションを受けたのが初めてだったので、緊張してしまって何を話したかも覚えていません」

石垣「僕は今回が2回目の映画出演になるんですが、最終選考でメインとなる3人の俳優に選ばれたものの、主役は取れなかったのが残念でした。でもこの経験を活かして次につなげたいと思います!」

撮影現場で印象に残ったことを教えてください!
富樫「緊張して胸がドキドキしました。でも撮影はとても楽しかったので、またやってみたいと思います」

下田「現場の雰囲気というのは現場でなければ味わえないし、見方も映り方も、現場でなければ体得できないことがたくさんある。それが一番嬉しいですね」

石垣「僕は撮影前にプロデューサーに言われたことの意味が現場に出ると理解できるようになったのが驚きました。自分ではわかったつもりでいたのに、実は100%理解できていなかったので、現場では体と頭のダブルリアルに吸収できると実感しました」

村田「現場は練習もないし、それが自然な演技につながるのかなとも思いましたが、自分がどうスクリーンに映っているのか、想像がつかないので、完成が楽しみです!」



下田辰徳
悪役で出演しました。反省点も多く、その気持ちが次へのやる気につながっています



富樫迅
子供の姿をした悪霊を演じました。楽しかったけど、次は普通の人の人演じたいです(笑)



村田藍菜
悪霊役を演じたので、たくさんホラー映画のビデオを借りて勉強しました



石垣祥
主演の風間亮の友だち役です。この経験を活かして次は主演を取るように頑張ります!

CHANGE 2

デ☆ビュー読者から映画主題歌デビューが決定!
ライブ活動をしながらデビューを目指していた「デ☆ビュー」読者が、MIRAIの主題歌アーティストオーディションでチャンスをゲット! 『冬の怪談』でデビューを飾るよ!

応募したきっかけは?
「シンガーソングライターとしてライブハウス等で活動していたんですが、本格的なデビューを目指したくて、デ☆ビューを見て応募しました」
映画の主題歌を歌うことになって自分自身が変わったことには?
「今回は、映画の台本を読み、撮影現場にもお邪魔させていただいて、作詞をしたんです。映画が伝えたいことを考えながら書いたり、役柄の気持ちになつて書いたり、すべてが初めての経験でほんとうに勉強になりました。僕の作った歌が映画で使われるということで、貴重な経験ができて、自分の視野が広がったと思います」
今後の抱負を教えてください!
「僕はいつも来年の自分が今の自分のことを頑張ったねと今のように思っているから歌をやってきました。今後もこの経験を活かして、全力投球で歩んでいきたいと思います!」



北山準也
きたやまじゅんや ●1988年8月11日生まれ。地元の岡山でのライブ活動を経て、16歳のときに「デ☆ビュー」を目指して上京。